

## 広報紙配布部数 (令和8年3月現在)

|          |        |       |        |
|----------|--------|-------|--------|
| 西大路町     | 730部   | 池尻町   | 1,630部 |
| 大町       | 1,150部 | 花田町   | 200部   |
| レックスガーデン | 210部   | 松ヶ丘町  | 170部   |
| 紅葉ヶ丘町    | 400部   | 緑ヶ丘町  | 230部   |
| 五月ヶ丘町    | 120部   | 桃ヶ丘町  | 60部    |
| 額原町      | 500部   | 箕ヶ丘町  | 970部   |
| 小松里町     | 790部   | 新小松里町 | 165部   |
| 額町       | 1,000部 | 下池田町  | 940部   |
|          |        | 下池田東町 | 400部   |

(順不同)

## 全八木地区みんなの広報紙



## 第 40 号

2026(令和8)年7月1日発行

発行所 八木地区市民協議会  
 発行者 笠松 武志  
 連絡先 市立八木市民センター  
 ☎443-6848

八木地区  
市民協議会 挨拶会長  
笠松 武志

令和8年度八木地区市民協議会会長を務めさせていただき、西大路町の笠松武志です。いつもながら八木地区市民協議会の行事にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

今年度より全八木地区みんなの広報誌である「いき八木」を年二回発行することとしました。これにより、各部会の行事などの情報について、八木地区地域全体での共有が促進されると存じます。つきましては、地域の方々がお互いに支え合い助け合うことで、より一層安心で安全な街づくりに繋がることを願っております。地域の行事などで、知り合い、集い、そして対話することが、この街づくりの始まりに

なるのではないのでしょうか。皆様の積極的な参加をお願いします。

今年一年も福祉、人権、環境、青少年、文化体育、広報の各部会で各行事・研修など毎年積み重ねていくことで、老若男女皆さんが楽しく過ごせる街を目指し、地道に活動をしていきますので、ご支援・ご協力をお願いします。

久米田池夏まつり  
実行委員会 顧問  
岡野 輝秋

第十七回「久米田池夏まつり」は、7月26日(日)に開催することになりました。例年は、7月の最終土曜にいたしますが、今年度は花火業者の関係で1日延期になりました。今年度は、早々にイベント参加者の募集や、子どもを中心にした地車太鼓の練習も場所を資料館前からイベントのステージ

へと移動しました。

例年以上に充実した夏まつりにするため、多くの八木地区の住民の方の参加や八木地区以外の住民の皆さんの参加もして頂きたく計画もしています。

この夏まつりは、すべての団体や個人の皆様の「賛助金」にて運営しています。この「賛助金」も今年は昨年より100万円多く皆様をお願いをする予定です。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

「久米田池夏まつり」もかなり全市的にも知れ渡ってまいりまして、花火の打ち上げ時間には、約1万人の観客が、久米田池の周りを取りまいて見学されます。

今年は、昨年以上に団体企業様や個人様をお願いをし、より充実した夏まつりにしてまいります。

今年も「久米田池夏まつり」の運営にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

## 八木市民協議会総会

去る5月24日(日)、八

木市民センターにて八木地区市民協議会の総会が行われました。今年度は全体の総会となり、各町会長、各部会会長、関連団体長を含め、100名近い方々が参加されました。笠松会長、佐野市長のご挨拶の後、昨年度事業報告、決算報告、今年度の予算、事業計画が承認されました。また今年度の新役員も紹介され、令和8年度の市民協の体制がスタートしました。そのあと、長年にわたり、八木市民協に関わってこられている岡野顧問より、市民協の活動の意義についての講演が行われました。この総会を通じて、八木市民協がその役割を果たせるよう、役員一同心を新たにいたしました。



## 各部会 活動方針

福祉部会長  
安井 久美

今年度、福祉部会長を務めさせていただいておられます安井です。よろしくお願いいたします。地域の皆様には、平素は福祉部会の活動にご理解、ご協力を賜りまして、ありがとうございます。

これまでない気候変動により、災害への備えなど益々大切になってきます。高齢者が孤立することなく、住み慣れた町で安心して暮らせることも大切です。このような社会の変化のなかでもこの地域に住んでいてよかつたなと感じてもらえるような八木の町づくりをめざしていかなければと感じています。

人権啓発部会長  
野中 多栄子

令和8年度、人権啓発部会を担当させていただきましたことになりました、箕土路町の野中です。部会の活動に際し、各

さてコロナ後の社会は大きく変わり、少子高齢化が進んできています。私たちの地域でも産まれてくる子ども、幼稚園児が減少してきているのを感じます。子育てサロンに来てくださる方も少なくなっています。こ

会様の協力とご支援をいただきます、誠にありがとうございます。本年の活動案といたしましては、例年通りの活動として、11月に人権研修バスツアー、人権セミナー映画鑑賞会を予定していま

環境部会長  
河島 勝巳

す。皆様のご参加、お待ちしております。その他の活動としては、市民協の様々なイベントのお手伝い（受付など）をさせていただいています。他の部会様の研修や、講座などにも参加させていただきたいと思っています。

本年度より環境部会長を務めさせていただきました、大町の河島と申します。何卒よろしくお願

環境部会では、各町会の環境部員の方々を通じて、2か月に一度の埋め立てゴミの回収ならび廃油の回収をはじめ、町内美化運動活動など、今年も引き続き各町会に

ご協力をいただき、実施していきます。

また活動を通じて、若年層から幅広い方々に向け、分別とリサイクルに対する異議をより広げていきます。

さらには各町会における環境課題を部会で話し合い、八木地区の住みよい街づくりを目指し、環境改善に取り組んでいきますので、より一層のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

青少年部会長  
稲本 義彦

平素は青少年部会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和8年8月30日（日）、マドカホールにおきまして「八木祭礼非行防止総決起大会」を開催いたします。

近年、叱られ慣れていない若者が、指導をパワ

ハラと受け止めてしまう傾向にあります。しかしながら、悪い場面に遭遇した際には、愛情を持って温かく叱ることが大切です。その想いは必ず相手に届くと信じております。また、青少年の健全育成のため、率先して朝の挨拶を行うなど、日頃のご協力をお願いいたします。

八木祭礼を通じて、非行に走る青少年を生み出さない地域づくりを進めるとともに、無事故で明るく楽しいお祭りとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

今後とも青少年部会の活動への変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広報部会長  
大植 佳彦

今年度、広報部会長を仰せつかりました、小松

里町の植です。不慣れな点も多いですが、精いっぱい頑張りたいと思っています。どうかよろしくお願いたします。

さて、広報「いきいき」今年度は2回発行を予定しています。八木市民協議会の各部会、関係団体、八木地区の中学校の活動をより多くの皆様にお伝えできればと思います。そして八木地区がより良い地域になる事を願っています。7月には久米田池夏まつりがあります。八木市民協主催の大きな行事です。皆さん楽しみにしてください。今後とも広報「いきいき」八木をよりよくお願いいたします。



## 八木連合青年團 活動方針



令和八年度  
八木連合青年團 團長  
上山 翔太郎

令和八年度八木連合青年團は、昨年の八木祭礼終了後から、本年度の祭礼にかける強い想いを胸に活動してまいりました。諸先輩方より受け継がれてきた伝統と誇りを大切にしながら、更に良い祭礼を創り上げるべく、団員一同熱意を持って日々準備を進めております。

また、5月24日に開催されたソフトボール大会では、多くの皆様にご参加、ご協力をいただき、大盛況のうちに終えることができました。各町との繋がりがや団結力を改めて感じる素晴らしい機会となり、祭礼へ向けた士気もより一層高まっております。

祭礼本番までの時間を大切に、最高の準備を積み重ねながら、地域の皆様と共に心に残る八木祭礼を作り上げてまいります。本年度も変わらぬご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。



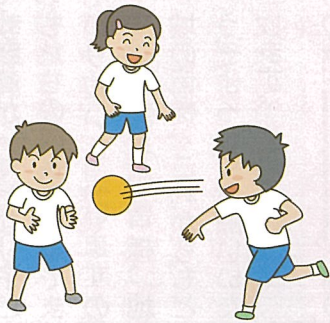
## 連合子ども会 活動方針



連合子ども会会長  
大崎 博人

今年度、八木地区連合子ども会の会長を拝命いたしました。地域の皆さまのご理解とご協力を賜りながら、子どもたちが安全に参加でき、仲間との関わりを通して成長を実感できる活動を進

めてまいりたいと存じます。本年度の活動は年間二回を予定しており、まず5月10日にドッジボール大会を実施いたしました。気温の高い中ではありましたが、子どもたちが懸命にボールを追いかけて、笑顔で競技を楽しむ姿を見ることができ、大変心強く感じました。今後は、子どもたちの経験がさらに広がるよう、実施可能な新たな催しについても検討を進めてまいります。また、秋には地域行事である10月の運動会を予定しております。子どもたちが協力し合い、挑戦する心を育めるよう、準備を整えてまいります。引き続き、皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。



## 小・中学校の 活動方針



### 久米田中学校



校長  
木實 広

昭和二十二年の創立時、本校は地域の皆さまの尊い寄付や献身的な奉仕作業によって、久米田山を造成して誕生しました。創立当初から続く五つの校訓（進取・自主・尊敬と感謝・責任・社会への貢献）は、子どもたちの未来を信じ、この地域を愛した先人たちによって定められました。

今、学校は変わろうとしています。人とつながる「かかわりの力」を育むプログラムに加え、今年度からは生徒が自ら問いを立てて学ぶ「探究」の時間が始まります。

守るべき伝統を胸に、新しい時代を生き抜く主体性を育む。子どもたち

### 八木小学校・幼稚園



校長  
川田 智子

の可能性を信じ、学校・家庭・地域が手を取り合えば、どんな困難も乗り越えられると信じています。久米田中学校への変わらぬご理解とご支援を、本年度もどうぞよろしく申し上げます。

今年度、八木小学校園長として二年目を迎えることになりました。川田でございます。平素より、本校園の教育活動にご理解、ご支援いただきましてありがとうございます。

今年度、児童四百四十名、園児三十三名でスタートしました。今年も教育目標「生き生きとした心豊かな子どもを育てる」に向けて様々な教育活動を行います。六月に広島方面への修学旅行、八月に海洋センターへの

臨海学校、十月に運動会、十一月に音楽会を行います。それ以外にも様々な特色ある取組みや学習を通じて子どもたちの力を育んでまいります。

今年、八木小学校は百五十周年を迎えました。大きな式典等を行う予定はありませんが、在校生で八木小学校の歴史を振り返りお祝いしたいと思っています。地域のみなさま、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



